



平成 30 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名	株式会社アプリックス	
代表者名	代表取締役 兼 取締役社長	長 橋 賢 吾
	(コード：3727、東証マザーズ)	
問合せ先	執行役員 兼 経営管理部部長	倉 林 聡 子
	(TEL. 050-3786-1715)	

AI アシスタント対応家電開発支援サービスの提供開始に関するお知らせ

当社は、Amazon AlexaとGoogleアシスタント対応を支援するAIアシスタント（スマートスピーカー）対応家電の開発支援サービスを新たに企業化することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 新サービスの概要

(1) サービス名

「AI アシスタント対応家電開発支援サービス」

(2) 特徴

Amazon Alexa と Google アシスタントの両方に対応可能であり、当社はAIアシスタント対応に必要となるIoTモジュール、アプリケーション、クラウドサービス等を一式まとめて提供いたします。

※詳細は別紙参照。

2. 提供開始日

2018年5月8日

3. 新サービスの企業化のために支出する額

約 250 万円（概算）

4. 新サービスによる売上高への影響

本件が当期業績予想に与える影響は精査中であり、今後当社業績に影響を与える規模の売上の発生が見込まれた場合は、速やかに開示いたします。

以上

各位

2018年5月8日

株式会社アプリックス

(コード番号:3727 東証マザーズ)

AI アシスタント(スマートスピーカー)対応家電の開発支援サービスを開始

～ IoT モジュールから保守まで提供し、Amazon Alexa と Google アシスタント対応を支援 ～

IoT(Internet of Things)製品向けソリューションの開発を手掛ける株式会社アプリックス(本社:東京都新宿区、代表取締役 兼 取締役社長:長橋賢吾、以下「アプリックス」)は、スマートスピーカーを使って日本語の音声で家電を操作するための「AI アシスタント対応家電開発支援サービス」を、2018年5月8日に提供開始しました。アプリックスは、AI アシスタント対応に必要なIoT モジュール、アプリケーション、クラウドサービスなどを一式まとめて提供することができること、加えて Amazon Alexa と Google アシスタントの両方に対応可能という強みを活かして、日本の家電メーカーなどに積極的に提案していく予定です。

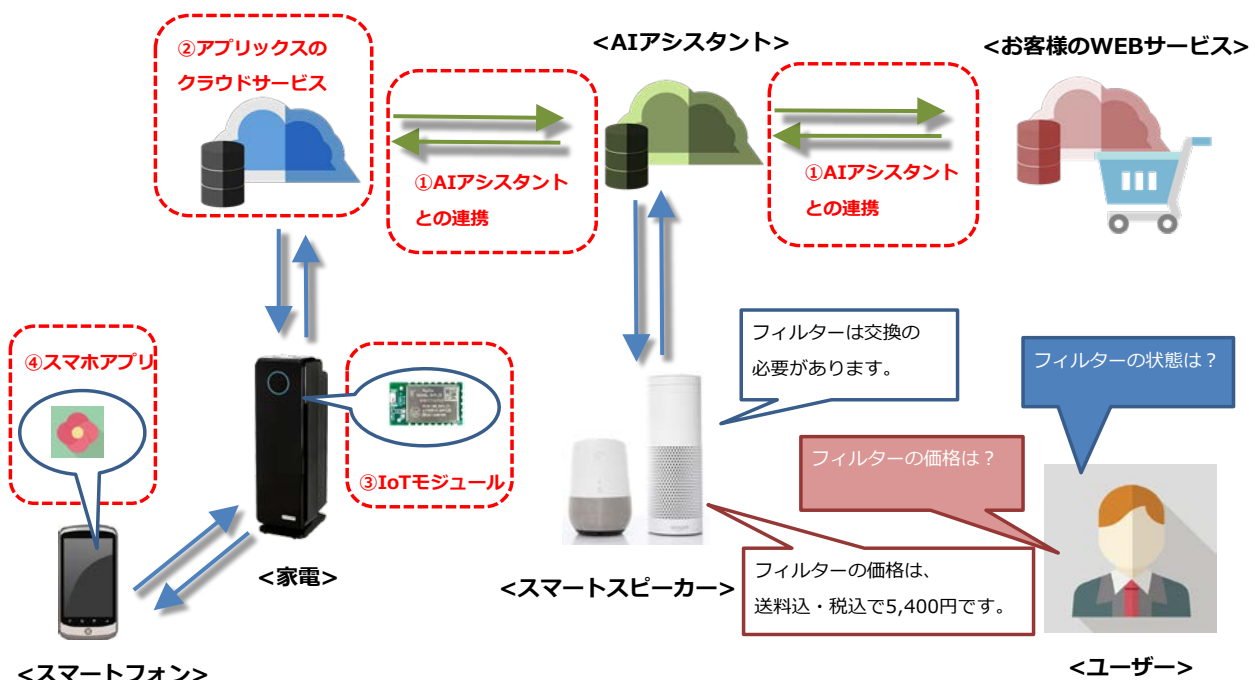
「スマートスピーカー」とは、インターネットに接続し、ユーザーと対話することによって、音楽の再生、インターネットの検索、IoT 家電のコントロールといったさまざまな操作を行うことができるスピーカーです。音声認識やコマンド解析などは、クラウド上の「AI アシスタント」が行っています。AI アシスタントには Amazon.com, Inc.の「Amazon Alexa」、Google LLC の「Google アシスタント」、Apple Inc.の「Siri」などがあります。

アプリックスが提供する「AI アシスタント対応家電開発支援サービス」は、コンサルティング、開発支援または受託、IoT モジュール(無線 LAN などを使って家電がインターネットに接続するために、家電に組込む小型の基板)の提供などを通じて、お客様の家電をスマートスピーカーで操作できるようにするもので、次のような特徴があります。

(1)2種類の AI アシスタントに対応

Amazon Alexa と Google アシスタントの両方、またはどちらかの AI アシスタントに対応可能です。現在、日本語と英語に対応しています。他の言語対応についてはお問い合わせください。

(2)家電の AI アシスタント対応に必要なものをトータル提供



アプリックス提供箇所の構成イメージ図

アプリックスは、上の図の赤い点線部分(①AIアシスタントとの連携、②アプリックスのクラウドサービス、③IoTモジュール、④スマホアプリ)を提供します。これらをアプリックスがワンストップで提供することにより、それぞれを一つから開発することと比べ、開発期間の短縮や費用の削減を図ることができます。

また図に示す箇所のほかにも、コンサルティング、各種テスト、販売後の運用・保守などもアプリックスが担当可能です。

(3) 提供物のカスタマイズや家電以外への対応も可能

AIアシスタントとの連携に必須になるアドオンプログラム「Alexaスキル」や「Assistant App」の開発だけをアプリックスに任せるなど、一部だけをアプリックスが担当することもできます。

またIoTモジュールを必要としないWebサービスのAIアシスタント対応や、アプリックス製以外のIoTモジュールを使う家電開発案件なども、アプリックスで受託することが可能です。

(4) 家電対応実績あり

2016年秋に発売された米国 Guardian Technologies LLC 製空気清浄機に対し、アプリックスは2017年2月に Amazon Alexa 対応^{※1}を、2018年4月に Google アシスタント対応^{※2}を行いました。また、2017年6月には、「Amazon Alexa 対応家電向けIoTソリューション」を提供開始しました^{※3}。

このサービスには、これらで培った経験やノウハウが活かされています。

アプリックスはこのサービスにより、音声で操作できるお客様の新しい製品やサービスの早期実現を支援していきます。

※1 2017/02/07 付プレスリリース「米国 Guardian 社製空気清浄機操作のための Alexa Skill を提供開始」参照。

※2 2018/04/24 付プレスリリース「米国 Guardian 社製空気清浄機への Google アシスタント対応を実施」参照。

※3 2017/06/05 付プレスリリース「Amazon Alexa 対応家電向けトータル IoT ソリューションを発売」参照。

以上

■株式会社アプリックスについて

アプリックスの使命は「ソフトウェアの力で世の中のあらゆる人々に幸せをもたらすこと」です。携帯電話でのJava利用という新しいフロンティアを切り開いた「JBlend」に続き、開拓中の分野が、IoT(Internet of Things)です。当社ではIoTモジュール(ビーコン)、スマホアプリ、クラウドサービス等のIoTソリューションを一貫して提供することで、家電製品等のIoT化を推し進め、「モノからの通知によって人々の生活を豊かにする」というコンセプトの実現を目指しております。

アプリックスのwebsite(投資家情報等):<http://www.aplix.co.jp/>

アプリックスのテクノロジー事業:<http://business.aplix.co.jp/>

■お問い合わせ先:

お問い合わせのページ:<http://www.aplix.co.jp/inquiry/>

※ 記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。